

ファンケルスマイル、磯子区総合庁舎にカフェを開店！！ **―障がい者の社会的自立を目的に、民間企業の運営は初―**

株式会社ファンケル(本社:横浜市中区、代表取締役社長執行役員藤原謙次)の特例子会社である株式会社ファンケルスマイル(本社・横浜市栄区、関根晋社長)は、2007年2月5日、横浜市の磯子区総合庁舎内に喫茶店「ほっと！スマイル」をオープンいたします。「ほっとスマイル」は、障がい者の雇用拡大や自立を目的にするもので、ファンケルスマイルの社員である知的障がい者が、軽食やコーヒー、ファンケルの青汁などを提供、サービスし、温かくお客様をおもてなしします。同店は、横浜市福祉局が主管している「ふれあいショップ」(障害者が働く飲食事業)として運営するもので、民間企業が運営主体に選ばれたのは今回が初めてとなります。

「ほっと！スマイル」オープンの経緯

横浜市福祉局では、障害者の社会的自立の支援や市民の理解促進のため、障害者が運営に携わる飲食店事業「ふれあいショップ」を市内に19ヶ所設置しています。今回、オープンする「ほっと！スマイル」は、この事業の一環で従来磯子区総合庁舎にあった喫茶店をリニューアルするにあたり、店舗運営の主体企業を市が公募。審査を経て、応募した4団体の中から、2007年11月にファンケルスマイルが選ばれました。これまで、運営主体はすべて福祉協議会などのボランティア団体で、民間企業が選ばれたのは、初めてのことです。

「ほっと！スマイル」の概要

新たにオープンする「ほっと！スマイル」は、障がい者の社会的自立と健常者とともに共に働き、集うことで互いを理解することをコンセプトにしています。店舗は磯子区総合庁舎の一階にあり、広さは約62平方メートル。座席数は28席となります。従業員は5人体制で、店長、店長サポートのほか、知的障がい者3人がフロアでの接客やサービスなどを行います。メニューは、有機栽培のコーヒーや紅茶、オムライスなどの軽食を揃えるほか、ファンケルで販売している青汁なども提供いたします。総合庁舎で働く約330人の区職員のほか、1日約2000人の来庁者を顧客にします。営業時間は、基本的に月一金曜日と総合庁舎が開いている第2、第4土曜日の10:00から16:30となります。



ファンケルスマイルとは

ファンケルでは、社会の不安や不満を取り除く「不の解消」という企業理念を実践するため、99年2月に障がい者の社会的自立を支援する特例子会社「ファンケルスマイル」を設立しました。ファンケルスマイルでは現在、知的障がい者など33人が、ダイレクトメールの封入や名刺作成、湿式シュレッターによる再生紙の回収などの仕事を行っています。また、スマイルの社員は、社内での軽作業のみではなく、飯島の旧本社一階に構える店舗「ファンケルプラザ」での接客応対や横浜技能文化会館での清掃作業請け負いなど、さまざまな仕事へ業務範囲を広げています。設立3期めの02年3月期の決算で、黒字化を達成しています。

<店舗概要>

店名：「ほっと！スマイル」

場所：横浜市磯子区総合庁舎内1F

〒235-0016 横浜市磯子区磯子3-5-1

JR根岸線「磯子駅」徒歩3分

開店日時：2007年2月5日（月）10：00

営業時間：月～金および土（第2・第4土曜日のみ）の10：00～16：30
日・祝日休み

席数：28席

店長：桑原務

メニュー例：スマイルオリジナル重 680円
とろっと玉子のオムライス 580円
有機栽培コーヒー 200円
有機栽培紅茶 200円
ファンケルの青汁 100円

など

<ファンケルスマイル概要（平成18年8月1日現在）>

社名：株式会社ファンケルスマイル(株式会社ファンケル特例子会社)

所在地：神奈川県横浜市栄区飯島町109-1

設立日：平成11年2月1日

資本金：3100万円

代表取締役：関根普

従業員：社員33名 知的障がい者31人(14人重度)

身体障がい者1人

精神障がい者1人

パート5名(指導員)

出向社員(管理者)

事業内容：ダイレクトメールの封入・発送業務・商品の梱包・名刺印刷

シュレッター作業など

(平成18年8月1日現在)



本件に関するお問合わせ先

株式会社 ファンケル

広報室 広報グループ:佐々木直子

〒231-8528 横浜市中区山下町89-1

電話:045(226)1230 / FAX:045(226)1202